

光岳（茶臼小屋からピストン）

日本百名山目（仙石会長）

【山行日】 2017年8月25～28日（金～月）

【メンバー】 CL仙石、SL小川、清水ケ、横田 合計4人

【交通・費用】 新幹線、しずてつ登山バス、毎日アルペン号 費用 43,000円位

【日程等】 天気 晴れ～曇り 前日までの荒天が回復、3日間はお天気もった

25日 小山駅 7:01＝なすの258＝東京 7:44～8:03
＝ひかり463 岡山行＝静岡 9:05～9:50
アルプス登山線(3100円)＝臨時駐車場 13:00
～13:50 井川観光協会の登山バスに乗る
＝白樺荘 14:00～15:00＝民宿ふるさと
(泊)054-260-2858

26日 民宿ふるさと 6:00 発《井川観光協会の登山バスに乗る》＝7:00 茶臼岳登山口(畑薙大吊り橋) 7:28――8:02 ヤレヤレ峠 8:16――9:30 ウソッコ沢小屋 9:50――12:00 横窪沢小屋 12:45――16:00 茶臼小屋 (歩行7時間10分)



27日 2:30 起床 茶臼小屋 2:47――3:45 茶臼岳 4:04――5:27 希望峰 5:29――7:27 易老岳 7:37――8:54 三吉平――10:16 光岳小屋 10:20――10:42 光岳 10:51――11:08 光岳小屋 11:32――12:30 三吉平――14:07 易老岳 14:12――16:00 希望峰 16:05――16:58 茶臼岳 17:03――17:30 茶臼小屋(泊) (歩行13時間17分、行動時間14時間42分)
計画より40分早く出て計画より40分遅く到着

28日 茶臼小屋 5:51――7:35 横窪沢小屋 7:52――9:09 ウソッコ沢小屋 9:21――10:38 ヤレヤレ峠 10:53――11:20 茶臼岳登山口(畑薙大吊り橋) 13:40《井川観光協会の登山バスに乗る》＝14:00 白樺荘(入浴・食事) 15:30 発 毎日アルペン号＝新宿西口 20:30＝湘南新宿ライン＝小山 22:00

(ヤマレコ: <https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1242779.html>)

深田久弥の百名山、歳を重ねるまではどうでも良かった。春は山スキーだし、無雪期には何年も涸沢に通った。高山植物さえあれば良かった時期もあった。ふと数えてみると75座を過ぎていた。歳も60歳を迎えあと何年登れるか、ここいらで百名山を一つの目的にしても良いのではないかと。北海道、九州四国遠いところはほとんど登っていなかった。出来れば会のみんなど行ければもっと良い。思い返せば一人で登っていたら達成できなかったかもしれない。今でもそうだが、みんなで行く力がわいてくる気がした。会のみんなにありがとうと言いたい。

光岳、やっぱり最後に残ってしまった。南アルプスの最南端の大変な山。今回登ってみてやっぱり大変な山だった。年齢も65歳を過ぎて急激に体力が落ちてきたのを実感する。昨年下ってきた茶臼小屋からの道、今年は喘ぎ喘ぎ登っている。ヤレヤレ峠、まだ序の口、ウソッコ沢の小屋、中の段、やっと中間点の横窪沢の小屋。ここからも急登は続く。休憩予定の場所まで体力が持たない。休憩回数が増えて行く。茶臼小屋着16:00の超鈍行となった。しかも、その日はビールも飲まないで寝てしまう。疲れたのでした。

二日目、光岳をピストンする。小屋の張り紙で所要時間13時間10分とあった。ウチらのスピードは遅いけど、暗くなる前には帰ってきたい。2時半前に目覚めた。予定では3時半発だが、早めに出よう、という

ことで、すぐに出発。暗い中を茶臼岳に登る。茶臼を下る頃明るくなって来る。仁田池、希望峰、易老岳、光岳の姿は見えないけれど、振り返ると聖岳、上河内岳が次第に遠くになってくる。三吉平から静高平へ、静高平から続く草原は、こんな山の中にこんな大きな原っぱがあるなんて、感激。その先に光岳の小屋が小さく見えてさらに感激。光岳の山頂は標識のある樹林の中。小川さんが百名山達成の横断幕を用意してくれていた。知らなかった。ひっそりと百番目を迎えるつもりだったのですが、仲間の好意に感激でした。でも、ゆっくりは出来ません、帰らなくては。帰りの易老岳、希望峰、最後の茶臼岳の登り返しはかなり辛いものでした。何とか明るい内に小屋に到着、良かったです。

三日目、下りは何とかかなります。予定よりずいぶん早めに小屋を出て、ずんずん下り畑薙大吊り橋を渡りきって山行終了。バスの時間まで2時間、コーヒーも沸かしてゆっくりと過ごしました。

数々の山行に同行してくれた会の仲間たちに改めて、“ありがとう”と感謝したいと思います。(仙石)

今回の山行は、仙石会長にとって記念すべきものであったが、山行の最初から大きな迷惑を受けてしまった。前日宿泊した民宿前より、井川観光協会のワゴン車に乗せてもらい、その後白樺荘で一人、臨時駐車場で二人を乗せて、林道を走り畑薙大吊り橋で車を降りて、車後部に積んだザックを順番に下ろすと、一番下に置いた自分のザックの回りが濡れていることに気がついた。ザックの背の上に置いたため、ザックの前とボトムの部分が、かなり濡れている。前ポケットに入れた、帽子、タオルや手袋がびしょ濡れになっていた。夕方山小屋でザックから中身を出して確認したところ、防水バックに入れた着替えは、難を逃れたが、ダウンジャケットは着られる状態ではなかったし、雨具も湿っていて干さないといけない状態になっていた。原因は、最後に乗った若い兄ちゃんのザックに入れてあった、プラティバスの栓が緩かったため、約2リットルの水が流れ出したことであった。「このヤロー」と思ったが、大人の対応で乗り切ることにした。濡れた手袋は、しかたなく身に付けたが、帽子とタオルはザックの背にくくりつけ、歩きながら乾かす作戦をとった。

最初に、長さが181mある、畑薙大吊り橋を渡り、緩やかな登りと踏み板が一部腐食している吊り橋を何回か渡りながら、ウソッコ沢の避難小屋に着く。ここから横窪沢小屋までは、急——登——にあえぎながら登り、更に茶臼小屋までも急登の連続であった。

標高差1400mを登って疲れていたことと、小屋が混み合っていてゆっくりできる場所がなかったことが作用して、ビールも飲まないで就寝となった。

光岳までが遠いため、朝の3時前に小屋を出発する。茶臼岳の下りまでがヘッドランプを付けての行動となった。その後、希望峰、易老岳、三吉ガレ、三吉平まで登り下りを繰り返し、静高平まで最後の登りとなった。静高平の水場は水量豊富でとてもおいしい水であった。

山頂台地の木道を進むと、光岳小屋に到着となる。ここからあとひと登りのところに、光岳の山頂があった。木々に囲まれ、ひっそりと山頂の標識が立っていた。サプライズの演出として、仙ちゃんに内緒で作成した横断幕を広げ記念写真を撮影する。これから、茶臼小屋まで戻らなくてははいけないため、光石まで足を延ばすことが出来なかったことが、心残りとなる。

光岳小屋のベンチで昼食をとり、その後来た道を延々と歩き、茶臼小屋に何とかたどり着いた。自炊スペースを借りて、4人で百名山達成の祝杯をあげた。(小川)

心配していた天気も、前線が少し押し上げられたと言う事で、私達に見方をしてくれた。

光岳は、日本アルプスの最南端の山と言う事で、アプローチが長く、人は少なく静かな山です。

2日目の畑薙から茶臼の小屋、(標高700~2400メートルの高低差)は今年の降りでおよその想像がついたが、それにしても畑薙大吊り橋を過ぎてからの、長い、長〜い上り坂は辛かった。

3日目の茶臼小屋から光岳の往復は、樹林帯の間から時折見える聖岳の勇姿を眺めてはその大きさに感動し、励まされ前に進むことが出来ました。シラビソの樹林帯の中なので暑さは凌げましたが、長い一日でした。

残念ながら、光石までは辿り着くことが出来ませんでした。せめて下からピカリと光を放った光石を見てみたいです。

今回は、会長の100番目山に同行させて頂き、無事達成できたことは本当に良かったと思います。おめでとうございます。(清水)

仙石会長、百名山制覇 おめでとうございます。そして100個目の光岳登頂、お疲れ様でした。暗闇の中、ヘッドライトを付け小屋を出発、これから長時間コース大丈夫だろうか?と思いながら登り始める。

延々と歩く・・・今までで一番歩いて、これ以上歩くことはないだろう・・・歩く最後の登りが過ぎ、光岳頂上へ(ちょっと寂しい) やっと着いた～ おめでとう!!

横断幕(小川さん手作り、ありがとうございます)と一緒に記念撮影、見晴らしは、聞いていた通り良くない。すぐに下山、やはりリーダーは早い。

3泊4日と連日の山行、天候にも恵まれ、樹林帯の中の登山道、豊かな沢の水量、沢山のキノコ、まっ赤な色鮮やかなモミジを見つけ楽しみ、初めて食べたシカ肉、熊肉の料理、帰りのバス停で飲んだコーヒーなど、今回光岳登山への挑戦、完走できたことは、今後の自信にも繋がるかと思えます。このチャンスに参加でき良かった。頑張ったぞお～

ある日の出来事

ザックの中に20の水でビショビショ (O, さん)

ある日の夕食アルコールなしの食事 (S, さん)

サプリメントで元気モリモリ (K, さん)

食欲ダウンでも体大丈夫 (H, さん)

皆さん、大変お世話になりありがとうございました。

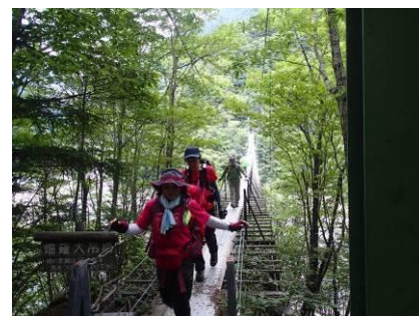
(横田)



1泊目民宿ふるさと



アマゴ、鹿、熊、山菜



大吊り橋を渡ってスタート



吊り橋が続きます



急登、急登の連続



横窪沢小屋



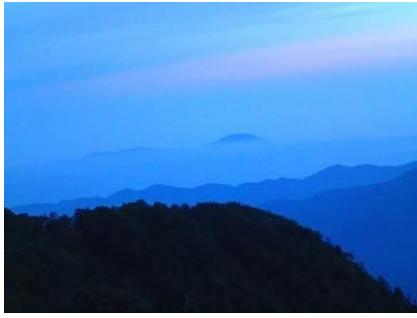
超鈍行で茶臼小屋に到着



本番、暗いうちに出発、茶臼岳



聖がだんだん遠くなる



富士山が雲海に浮かぶ



中央アルプスと御嶽山



三吉平まで来た



静高平の水場



草原の先にて光岳の小屋



小屋とイザルガ岳、富士山



光岳 さよなら



やっと茶臼岳に戻ってきた



最終日、富士山の朝焼け



ヤレヤレだ



大吊り橋を渡って、本山行終了



白樺荘、温泉、ラーメン、ビール